

社会福祉法人が抱えた環境問題に対する地域住民との共存について

当施設は、地上5階建てで常時120名の方が入居・利用している。それにともない莫大なエネルギーを消費していた。宝塚市では京都議定書で定められた温室効果ガス削減へ向けての取り組みがなされていることもあり、ISO14001を認証取得し、水・電気・ガス使用量削減によるCO₂排出量の削減に取り組んでいる。さらに、削減されたコストから屋上・壁面緑化を行い、地域に対しての環境保全を行うべく活動に取り組んでいる。

社会福祉法人 **晋栄福祉会** 〒665-0047 兵庫県宝塚市亀井町10-30
TEL: 0797-73-0880/FAX: 0797-73-0890

◆ 法人の概要

法人設立年：昭和54年
経営施設、事業（数）：21施設
経営施設、事業（種別）：
居宅介護支援…4箇所
訪問看護…1箇所
認知症対応型共同生活介護…1箇所
小規模多機能型居宅介護…1箇所

◆ 法人の理念・経営方針

(理念)
DO FOR OTHERS
情熱をもって行動する 前進と振り返り 時には回り道もある あらゆる工夫でいろいろな方法で コミュニケーションをとり連携する
すべては地域に住む人々と自らの幸福のために

◆ 実施施設の概要

施設名：宝塚ちどり
施設種別：介護老人福祉施設 100名
活動開始年：平成19年8月
活動の頻度・時間：随時
活動の対象者：入居者、入居者の家族、職員、地域住民

活動実施の背景、実施にいたった理由

平成17年10月に宝塚市に開設された当施設は住宅地の中にあり、開設当初からどのようにして地域住民と共存していくかが課題として挙げられていた。そこで地域との関係・連携を重視し、まず近隣住民の方に施設のコミュニティルーム（地域交流スペース）を開放し、お年寄りの寄り合いの場や宝塚市社会福祉協議会と連携し、出張児童館を行い地域福祉の向上を図ってきた。しかしながら、当施設は地上5階建てで常時120名の方が入居・利用することで莫大なエネルギーを消費しており、また建物から出るエアコン排熱で地域に対しての熱環境改善（ヒートアイランド対策）や環境問題への配慮がなされていなかった。当市でも京都議定書で定められた温室効果ガス削減へ向けての取り組みがなされており、当施設でISO14001を認証取得し、水・電気・ガス使用量削減によるCO₂排出量の削減を目指し、削減されたコストから屋上・壁面緑化を行い、地域に対しての環境保全を行うべく活動に取り組んでいる。

実施内容

環境ISOで挙げられている、環境目標・目的に水（2%削減）・ガス（6%削減）・電気（7%削減）・尿取りパット（5%削減）の各使用量削減の設定（平成19年度下半期目標）を行い、各会議、研修での周知徹底や、毎月掲示板に使用量等を掲示して削減に向けた活動を進め、利用者・家族に対しては施設広報誌による情報提供を行い、理解を求めた。次に地域の方に対しても、住宅密集地にある施設が地域の皆様に対して環境保護（温暖化防止）の為にどのような取り組みをしているのかについて、屋外掲示板で施設での活動内容等開示を行った。また平成19年度に削減されたコストで特別養護老人ホーム内中庭の緑化（写真）を進め、外庭に関しては順次ボランティアによる施設内庭園作りを進めている。

活動効果

施設内職員を中心として、熱環境改善（ヒートアイランド対策）や環境問題を軽減するために、施設内で資源使用量削減を目指すと同時に、平成20年6月に県内社会福祉法人で初めて（全国で14番目）となるISO14001を認証取得した。認証取得することで職員の意識向上に繋がった。その後委員会を立ち上げ、職員に対し環境保全への取り組みを周知することにより、今年度は前年度を上回るペースで削減（平均10%程度）が行えている。

入居者や家族にはユニット内掲示板や施設情報誌による情報提供がなされ、現在のところ、苦情（入居者の不利益による）は受けていない。

今後の課題

目標である施設の屋上・側壁緑化の費用を捻出するのは、長期間かかることが予想される為、職員に対して意識の継続を持ってもらうことが重要であると考えます。

入居者へのサービスの質を落とすことなく、環境保護の為の削減方法を考えていくことが重要である。入居者の視点を重視し、サービス向上委員会と連携し、職員の行き過ぎた削減の為の行動がないように確認出来る体制作りを行って行かなければならない。

また地域の方に対しての情報提供は、屋外掲示板での情報提供のみにとどまっている。施設が行っている環境保全の取り組みをより分かり易く開示し、地域住民も一緒に取り組んで行けるシステム（環境保護教室等）が必要と考える。また今後入居者と一緒に緑化を考え、作業を行っていくことも検討していきたい。

